

野洲市でも みなさんと力をあわせ



「市民こそ主人公」の市政実現へがんばります



医療費の窓口負担減免制度の実施を

国民健康保険税は、低所得者や収入減の方に対して国保税を減額する制度があります。しかし、窓口で払う医療費については、減免制度がありません。しかし、国民健康保険法第四十四条では、医療費負担を減額・免除をおこなう規定があります。ところがこれまで自治体では制度化を怠っていました。

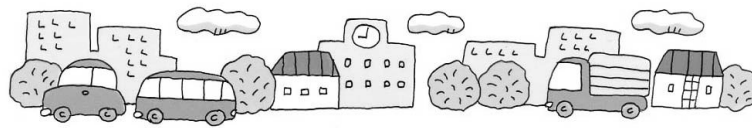
医療費が年々引き上げられる中、野洲市でも三割負担の減免が求められます。早期発見、早期治療をするためにも、減額・免除を行い、安心して医療を受けられるように、新市で求めていきます。

一〇月一日、野洲市がスタートしました。新市では、約半世紀にわたる中主町・野洲町の伝統と文化を引き継ぎながら、暮らしをまもる市政を多くの市民のみなさんのお望みではないでしょうか。日本共産党は、公正で民主的な行政と議会、また、暮らしと福祉をまもり、子どものすこやかな成長を保障する市政の実現へ、全力をあげます。

いま、小泉内閣のもと、憲法や年金・医療の改悪が進められており、市民の平和と暮らしをまもる野洲市が求められています。また、合併による水道料金や国保税の値上げも予定されており、「市民こそ主人公」のまちづくりも切実な願いです。

日本共産党は、これまでみなさんと運動をすすめ、乳幼児医療無料化の拡大、中学校給食の実施、学童保育所の公営など要求してきました。新市で日本共産党は市議会で二議席となります。この力とみなさんとの共同で、引き続き、福祉・暮らし優先のまちをめざします。ご支援よろしくお願ひ申し上げます。

日本共産党野洲市議会議員団



福祉・暮らし優先のまちをめざします



こすが むつお
小菅 六雄

昭和二六年生まれ。昭和五四年に二七歳で中主町議初当選、七期。学童保育所や保育園保護者会役員。町保健福祉施設運営委員会委員長などを歴任。



の な み きょうこ
野並 享子

昭和二四年生まれ。昭和五九年に野洲町議選で初の女性議員に当選、六期。元学童保育所役員、議会総務常任委員会副委員長などを歴任。

「やす民報」をお届けします

市民のみなさんとの架け橋
これまで二町で「中主民報」「野洲民報」を発行していました。新市の誕生に際し、まちの出来事や切実な願いを市政にお届けする「やす民報」を新たに発行します。ご愛読とともにご意見をお寄せください。

やす民報

発行 日本共産党野洲市委員会
2004年10月 8日 1

あなたのご意見・ご要望をお寄せください

小菅六雄 比江668-3 TEL589-4971 FAX 589-6184
野並享子 北野1丁目7-10 TEL587-0985 FAX 586-1102